

2017年(平成29年)10月25日(水曜日)

JR三島駅前東街区の再開発

事業後の街並み 模型とCGで

三島市がJR三島駅前東街区で計画している再開発事業の延期を求めているNPO法人「グラウンドワーク三島」が、事業終了後の街並みをイメージした模型とコンピューターグラフィックス(CG)を作った。28日にセミナーを開きPRする。

模型は500分の1サイズで、JR三島駅南の中心市

延期求めるNPO法人

街地を再現。再開発で建設される高層マンションや商業施設の部分は、市が公表した資料を基に制作し、オレンジ色で表した。CGでは駅上空や駅前の通りなどからの眺めを示した。建築の専門家らの協力を得た。

グラウンドワーク三島は「再開発には数十億円の費用がかかるが、中心市街地の活性化につながるかどうかは不透明」だとして、いったん計画を延期して議論を尽くすよう求めている。渡辺豊博専務理事は「市は急いで物事を進めようとしている。市民に冷静に判断してもらおう材料を提供したい」と話す。

28日のセミナーは三島市民生涯学習センター(大宮町)で催す。模型とCGの展示や事業の概要を説明した後、参加者と意見交換する。午後2時から2時間



で、参加無料。

11月上旬からは延期を求める署名活動を始める。来年2月まで行い、市に提出する。(佐久間博康)

▲模型について説明する渡辺豊博専務理事(左)ら三島市で

28日にセミナー「市民に判断材料提供」